

IEC TC111(電気・電子機器、システムの環境規格)

最新動向に関する講演会

開催日時と場所

- ◆ 2017年 1月 17日(火) 13:30 - 17:00 (受付開始: 13:00~)
- 会場: 日本教育会館 一ツ橋ホール 7階 701-702号室
- 住所: 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 / TEL. 03-3230-2833
- 案内図: <http://www.jec.or.jp/koutuu/img/map800.gif>
- 定員: 140名(予定)
- 聴講料: ¥5,000/人(テキスト代、税込)

主催者挨拶

IEC(国際電気標準化会議)に、電気・電子機器に共通な環境に係わる規格を策定する TC111(Environmental Standardization for Electrical and Electronic products and systems)が2004年10月に設立されて以降、日本が TC111 国際議長をつとめ、議論の場で中心的な役割を担いつつ、テーマごとに設置した WG・PT(Project team)において、国際標準化の作業を進めて参りました。

そのような状況のなか、2016年は10月12日~18日の間、フランクフルト(ドイツ)において IEC TC111 全体会議及び TC111 傘下の WG・PT 会議等が開催されましたので、最新情報を紹介するため、講演会を開催することと致しました。

今回の講演会では、TC111 全体の事業活動を紹介すると共に、TC111 の中でも特に皆様方のご関心の高い下記4つについて、ご紹介させていただきます。

□テーマ A: TC111 事業活動及び戦略プラン

10月開催のフランクフルト会議の結果も踏まえ、TC111 の中期活動戦略(SBP: strategic business plan)、新たな活動(WEEE、電気・電子製品の環境ラベル要求基準の分析)や ISO との連携等に係るトピックスを紹介する。

□テーマ B: MT62474: 製品含有化学物質情報開示に関する規格及び

IEC PT63000: 製品含有化学物質法規制への適合性評価

製品含有化学物質の情報伝達の規格(IEC62474)の改訂。

IPC1752A、chemSHERPA を含め1つのスキームにまとめるべく議論が進んでいる。

また、10月には各国 RoHS 規制に対する適合性評価方法についての国際規格が発行した。

□テーマ C: IEC62321: 電機電子製品中の有害物質における試験方法

有害物質における試験方法は、現在、物質ごとに策定されている。RoHS 追加物質であるフタル酸エステル類の試験法が Part8 として策定が進み、また、REACH 関連物質である HBCDD や PAH、さらにハロゲン関係の試験法の制定が進んでいる。

□テーマ D: JWG ECD 62959: 環境配慮設計(ECD)分野の国際標準規格開発

電気・電子製品だけでなく、あらゆる組織、製品及びサービスに適用できる「環境配慮設計の原則、要求事項及びガイダンス」について、IEC が主導する IEC/ISO 共同 WG でダブルロゴ国際標準の開発を推進している。CD 文書が回付されており、組織内の様々な機能と事業フェーズに適用する際の要点を紹介する。

□テーマ E: PT63031: ローハロゲン定義策定

ローハロゲンについては、ローハロゲンの明確な定義を策定することが望まれていた。これを受け、今年2月からローハロゲンの定義の規格開発が始まり、既存の JEDEC JS709A をベースとしたクラス1とフッ素、塩素、臭素、ヨウ素の全ハロゲンの合計で上限値を設けるクラス2の二つのクラスをもつ CD を回覧しており、今後審議を進めていく。

ご聴講の皆様には、これら最新の動向が貴社の環境事業に有用な情報となりますことを切に望んでおりますとともに、今日、TC111 の活動をよりご理解いただき、今後の活動に一層のご支援を賜りたく宜しくお願いいたします。

プログラム内容

2017年1月17日(火) 13:30~17:00 (受付開始 13:00~) 於: 日本教育会館		
13:30~13:35	主催者代表挨拶 TC111 運営委員会委員長 坂本 光俊 (コニカミノルタ(株)環境経営・品質推進部)	
テーマ A: TC111 事業活動及び戦略プラン		
13:35~14:10	講演概要	TC111 の中期活動戦略及び新たな活動のトピックスについて
	講師名	齋藤 潔氏 (一般社団法人 日本電機工業会 環境部 次長)
テーマ B: MT62474: 製品含有化学物質情報開示、PT63000: 製品化学物質規制適合性評価		
14:10~14:40 14:40~14:50 質疑	講演概要	製品含有化学物質情報開示規格並び適合性評価の審議状況について
	講師名	古田 清人氏 (キャノン(株) 環境統括センター所長)
休憩 (14:50~15:05)		
テーマ C: IEC62321: 電機電子製品中の有害物質における試験方法		
15:05~15:35 15:35~15:45 質疑	講演概要	電機電子製品中の有害物質における試験方法規格化の審議状況について
	講師名	竹中 みゆき氏 (株)日立ハイテクノロジーズ)
テーマ D: JWG ECD 62959: 環境配慮設計 (ECD) 分野の国際標準規格開発		
15:45~16:15 16:15~16:25 質疑	講演概要	環境配慮設計 (ECD) 分野の国際標準規格開発の審議状況について
	講師名	市川 芳明氏 (TC111 国際議長 (株)日立製作所 国際標準化推進室 主管技師長)
テーマ E: TC111 PT63031 ローハロゲン		
16:25~16:40 16:40~16:50 質疑	講演概要	ローハロゲンの定義策定の審議状況について
	講師名	蛭田 貴子氏 (シュナイダーエレクトリック(株))

お申込み方法

- ①「参加申込書」に必要事項をご記載の上、e-mail:eps1@jeita.or.jp宛にお送りください。
- ②折り返し、「参加申込完了メール」が送信されます。**このメールが「受講証」となりますので、印刷いただき、講演会当日に会場受付へご提示ください。**(お持ちでない場合は、名刺を1枚頂戴いたします。)
- ③受講料の「請求書」は郵送にてお申込者(代表者)宛にお送りいたします。金額・内容をご確認の上、ご入金をお願いいたします。
※受講料の振込手数料はお申込者様各位にてご負担願います。
※当日、現金のお取り扱いはいりませんので、ご了承ください。
- ④ご登録後のキャンセル、参加費の払い戻しはお受けできませんので、予めご了承ください。
お申込者様が参加できない場合は、是非、代理の方のご参加をお願いいたします。
- ⑤お申込みの締切は2017年1月10日(火)です。(定員になり次第締め切り)

聴講料 : ¥ 5,000/人 (テキスト代、税込)

注: TC111 国内運営委員会企業 (運営委員を含め2名までご招待。申込みは運営委員よりお願いします)

注: IEC TC111 国内委員会委員 (委員本人に限りご招待)

お問い合わせ先

(一社) 電子情報技術産業協会 環境部 担当: 石井、山田
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル5階
TEL: 03-5218-1054 Email: eps1@jeita.or.jp (山田)

年 月 日

eps1@jeita.or.jp (FAX 03-5218-1073)

一般社団法人 電子情報技術産業協会 環境部 行

IEC TC111 (電気・電子機器、システムの環境規格) 最新動向に関する講演会」
参加申込書

お振込み予定日	平成 年 月 日
社名・機関名	
氏名	
所属・役職	
住所	〒
E-mail	
電話番号	
受付番号	※記入不要

※申込書に記載された個人情報は、請求書送付等の当該講演会に関する連絡のみに使用させていただきます。

※請求書および受付番号は上記の受講者宛に郵送でお届け致します。

※事務処理の都合上、できるだけ本申込書を電子メールに添付する方法にてお申し込みください。